



前より前へ! 長岡  
人が育ち 地域が輝く

# ながおか 市議会だより

178号  
2011.11.1  
編集・発行/長岡市議会

ホームページで議会の録画映像を配信中 → <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/>



## トキの分散飼育を開始

10月11日、トキ分散飼育センター（寺泊夏戸）に、佐渡トキ保護センターから4羽のトキを受け入れ、分散飼育を開始しました。

分散飼育センターは非公開施設ですが、今年度中に隣接する寺泊夏戸センター内にトキ展示研修施設を整備する予定です。

## 決算審査特別委員会の委員が決まりました

9月13日の本会議で、平成22年度の予算執行における収入・支出が適正に行われたかを審査する「決算審査特別委員会」を設置し、下記のとおり19人の委員を選任しました。

決算審査特別委員会は11月8日(火)～10日(木)に開催予定です。

委員長	五井 文雄
副委員長	永井 亮一
委員	木島 祥司 佐藤 伸広 丸山 広司 関 充夫 杵渕 俊久 加藤 尚登 松井 一男 長谷川一作 大平美恵子 諸橋 虎雄 丸山 勝総 藤井 達徳 古川原直人 関 貴志 山田保一郎 大地 正幸 小坂井和夫

## 9月定例会

### 一般会計補正予算を原案可決

#### ― 7月豪雨災害復旧費ほか ―

9月定例会に市長から提出された一般会計補正予算について、委員会や本会議において白熱した議論を展開し、原案どおり可決しました。

#### 補正予算の概要

##### ■7月豪雨災害復旧費

60億5、206万円

- ・農林水産施設災害復旧費
- ・公共土木施設災害復旧費
- ・その他公共施設災害復旧費

##### ■長岡まつり協議会補助金

1億3、900万円

##### ■映画を活用したシティプロモーション推進経費

○長岡市山本五十六シティプロモーション実行委員会負担金  
1、600万円

○山本記念公園の整備

266万円

○「長岡映画」製作委員会補助金

1、000万円

##### ■放射線測定体制整備事業費

970万円

- ・測定装置購入費
- ・測定結果公表システム構築委託料

##### ■放射性物質汚染稲わら被害対応経費

・農林水産振興資金貸付者利子補給金  
194万円



9月定例会

19人が一般質問

一般質問の主な質問と答弁の要旨を掲載します。



笠井 則雄 議員 (4期・共産党市議団)

柏崎刈羽原発30キロ圏内の  
長岡市における  
原発問題について

**問** 原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることが必要だと考えるがどうか。

**答** 今後、自然エネルギー等を活用し、原発への依存度をできるだけゼロにする努力をすべきだと考えている。ただ、そのためのプログラムは、期限を区切るよりは、将来のエネルギーや原発をどうするかなどの課題を解決していく中で、一步一步進めていくことが必要だと考えている。市は、天然ガスの活用や下水汚

泥からのガス抽出、生ごみからのガス抽出などの事業を進めてきており、自然エネルギー等を増やしていく方向で努力していきたい。

平成23年7月新潟・福島  
豪雨災害、旧長岡市内の  
都市雨水対策について

**問** 今回、多くの浸水被害を出した柿川について、柿川放水路の早期実現を含めた抜本的な河川改修を県に強く求めてほしいがどうか。

**答** 今回の甚大な浸水被害を受け、これまでにも増して柿川放水路の早期実現に向けた運動をしていかなければならないと考えている。こうした中、9月6日に官民一体の「柿川放水路建設促進期成同盟会」を組織した。9月28日には総決起大会を開催する予定である。こうした活動を通じて、県に柿川放水路の事業促進を働きかけていきたい。



高見 美加 議員 (1期・市民クラブ)

平成23年7月  
新潟・福島豪雨について

**問** 塩谷川の復旧に当たっては、再び災害を受けないようにする必要はある。今後の河川整備にどう取り組んでいくのか。

**答** 災害復旧事業は、原形復旧を原則としているが、将来を考慮すると、塩谷川は抜本的な復旧が必要だと考えている。塩谷川が平成16年に続き再度被害を受けたことから、県は改良を含んだ復旧を国と協議しているとのことである。市としても二度と今回のような被害がないよう、県に改良復旧を強く要望していきたい。

子宮頸がん予防ワクチンの供給状況はどうか。また、今後の子宮頸がん予防に向けた市の取り組みは。

**問** 子宮頸がん予防ワクチンの供給状況はどうか。また、今後の子宮頸がん予防に向けた市の取り組みは。

**答** 全国ではほぼ一斉にワクチン接種が始まったことから、一時ワクチンの供給が必要に追いつかず、接種を受けられない状況だったが、7月20日には対象学年全員が接種できる状況になった。予防に向けた取り組みだが、子宮頸がんはワクチンで100%防げるわけではないので、成人後に検診を受けてもらうことが大切である。そのために市では、中学校において子宮がん検診の教育を行っているほか、専門医師による講演会なども開催している。今後もこのような取り組みを通じて、積極的に啓発をしていきたい。

もっと詳しい内容が知りたい方へ  
一般質問の詳細は、12月上旬発行予定の会議録、またはホームページ上の会議録検索システムをご覧ください。  
■会議録のあるところ  
市役所 (1階 市民情報ラウンジ、2階 情報公開コーナー、6階 議会事務局)、各支所、市民センター、市内図書館 など  
■会議録検索システム、インターネット録画中継  
⇒「長岡市議会ホームページ」へアクセス



諸橋 虎雄 議員 (3期・共産党市議団)

平成23年7月新潟・福島  
豪雨災害対策について

**問** 農地や農業用施設の災害復旧事業には、農家の負担を軽減するため、旧栃尾市並みの思い切った手厚い支援が必要と考えるがどうか。

**答** 国庫補助残に対する市の補助は、「受益者負担の原則」から全額公的負担はできないが、農地復旧に関しては、旧栃尾市よりも高い補助率で支援できると考えている。また、簡素な手続きで済む「長岡市版手づくり田直し事業」の補助率を5%かさ上げし、迅速な復旧で農地・農業施設復旧の年

度内完了を目指したい。

**問** 栃尾地域を流れる塩谷川は、12カ所も破堤し、また、7年前と同じ場所でも破堤するなど、抜本的な改良復旧が必要であると考える。来年の水田の作付けに間に合うように、県に対し、どのような要望をし、対策を検討しているか。

**答** 県には、改良的な要素も取り入れた抜本的な復旧を要望していきたい。また、水田の作付けや農業用水の取水・排水等にも十分考慮する必要があると認識している。災害復旧には関係機関の情報共有と調整が不可欠という観点から、9月に県と市の土木と農林関係部局から成る災害復旧連絡調整会議を設置した。市としては、会議を通じて地域住民の意向を県に伝えたいと考えている。

●その他の質問  
・主要地方道栃尾山古志線の通行止めについて



中村 耕一 議員 (2期・公明党)

避難所としての学校施設  
再点検と防災教育について

**問** これからの将来を担う子どもたちに、自分の命は自分で守るという主体的な防災教育を行うべきと考えるが、学校現場での防災教育の現状はどうか。

**答** 学校では年2、3回の避難訓練を通じて、自分の命は自分で守る実践力を身につけるよう指導するとともに、市が独自に作成した防災のパンフレットを活用し、防災教育に取り組んでいる。今後は、体験や実習を通し、子どもたちの主体的な行動力や判断力を養うことが重要だと考えてい

る。

長岡市若者サポートセンター  
について

**問** サポートセンターの運営は、県のふるさと雇用再生特別基金補助金を活用しているが、県の補助金が今年度で終了するため、事業継続がどうなるのか心配している。市民の期待も大きく、社会的な意義の面からも継続の必要性が十分にあると考えるが、今後、事業はどうなるのか。

**答** ニートなどの若者向けの支援は、商工部門だけでなく、教育や福祉部門などの積極的な関与による総合的な取り組みの中で大きな成果が出てくる。このような重要な事業がわずか2年で打ち切られることは大変残念である。県の補助金は、全額国の交付金で賄われており、国に対し強く継続を求めていく必要があると考えている。



広井 晃 議員 (1期・市民クラブ)

シティプロモーション  
について

**問** シティプロモーションの今後の方向性はどうか。

**答** アオーレ長岡では、市民協力を積極的に進めたい。また、長岡産産物の知名度の向上を図り、長岡ブランドの確立につなげたい。さらに、中越大地震からの復旧・復興を成し遂げた経験は、東日本大震災からの復興を目指す東北地方の被災者にも明確なビジョンを与える大きな資産と考え、「日本一災害に強いまち長岡」をPRし

ていきたいと考えている。

スマートシティに関連した  
産業振興について

**問** スマートシティ関連産業は今後の成長が期待される分野だと考えるが、当市のスマートシティ関連産業の受注促進や企業誘致はどうか。

**答** 受注活動は企業努力が基本であるが、企業の見本市出店や技術開発への補助、スマートシティ関連企業とのマッチングの機会の提供などを通じて、市としても支援をしていきたい。また、関連企業の誘致も重要であると認識している。昨年度から首都圏を中心に個別に企業訪問を進めており、当市の立地の優位性を訴えるなど、積極的に誘致活動を行っている。

※1 長岡市版手づくり田直し事業：国の災害復旧事業に該当しない小規模農地などの復旧・整備、水田の地力回復を行う場合に市が経費を補助するもの。  
※2 スマートシティ：太陽光発電や風力発電など、再生可能エネルギーを効率的に活用し、二酸化炭素の削減を目指す都市のこと。





藤井 盛光 議員  
(1期・市民クラブ)

### 教育について

**問** ホノルル市との平和交流を契機として、改めて歴史を検証し、誇りある日本人の歴史を子どもたちに伝え、真の相互理解を進めるべきと考えるがどうか。

**答** 昨年、日米友好の架け橋実行委員会とハワイ日米協会との間で、歴史的事実の正しい理解のもとに平和教育を進めることを合意した。交流の一環として、ホノルル市側から、戦災資料館などを訪れてもらい、相互理解を深めたほか、日米協会の理事長が南中学校の生徒と意見交換を行った。今後も、お互いの理解を深めなが

ら、青少年を軸とした両市の交流を進めていきたい。

**問** 8月に実施したアンケートで、教職員の事務作業の負担が大きく、生徒に対して面と向かって指導する時間が奪われているということが明らかになった。教職員の補助をする職員を市の予算で配置するべきでは。

**答** 市としては、報告文書は必要な場合のみ、できるだけ簡素な様式とし、提出期限も余裕を持たせている。しかし、負担を掛けている場合もあり、改善する必要があると考えている。現在、教職員の事務の負担軽減を図ることを目的に、31名の学校運営改善推進員を県の緊急雇用事業で配置し、有効に活用しているほか、市単独で介助員や学習指導補助員、心ふれあい相談員などを各学校に配置している。今後も、各学校の実態に応じ、バランスよく配置し、負担軽減に努めたい。



山田 省吾 議員  
(2期・しん長岡クラブ)

### 放射性物質の農畜水産物及び生産活動への影響について

**問** 放射性物質に汚染された他県産飼料用稲わらによる畜産への影響と、その後の経過は。

**答** 放射性物質に汚染された稲わらを与えた可能性のある牛は、追跡調査から、暫定規制値を下回っていることが確認されている。しかし、該当する肉牛農家では、枝肉価格の暴落による重大な損害を被っていることから、損害を東京電力に賠償請求するとともに、市で無利子融資制度を設け、早期の対応を国、県に申し入れることとしている。

また、放射性物質で汚染された堆肥等の農業用資材は、国、県の指導に基づき農家等で適正に管理されていることが確認されており、現在流通している堆肥からは放射性物質は検出されていない。

**問** 平成23年度の米は、検査の結果、安全であると公表されているが、放射性物質の汚染に対する不安や風評被害に対し、市はどう対応するのか。

**答** 県が主体となって行った放射性物質の検査でも、当市の水田土壌や米から放射性物質は検出されていない。また、今年度は品質、作況ともに期待ができるようである。

今後も、風評被害を回避し、消費者から長岡産を安心して選んでいただけるよう、引き続き、しっかりと安全確認をし、正しく情報提供したいと考えている。

### その他の質問



杵淵 俊久 議員  
(2期・しん長岡クラブ)

### 中山間地域の振興について

**問** 現在、中山間地域は、限界集落の増加、農地の荒廃など多くの問題を抱えている。市は中山間地域の振興をどのように進めていこうと考えているか。

**答** 中山間地域の振興には、住民の皆さんが地域を愛して、自らの地域を何とかしたいという気持ちが必要に大切である。例えば栃尾地域では、地鶏を利用した農家レストランが開設されたが、こうした事例を積み重ねることが最終的な振興につながると考えている。市では、山の暮らし再生機構や中越防災安全推進機構と連携

した支援を積極的に行っているが、今後とも必要な支援を全行的に行えるよう努力していきたい。

### 平成23年7月 新潟・福島豪雨災害について

**問** 7・13水害時、旧栃尾市では農業用施設の復旧費の補助残を全額市が負担した。今回も受益者負担の軽減措置が必要と考えるがどうか。

**答** 農業用施設は「受益者負担の原則」があるので、国庫補助災害復旧事業の補助残全額を公的負担することはできない。しかし、農地復旧については、平成16年当時の栃尾市より高い補助率で支援できると考えている。

また、今回の災害が7・13水害をしのぐ甚大な被害であることから、市は、市単独災害復旧事業の補助率を5%かさ上げし、農業用施設は70%、農地は55%の補助率で支援することとしている。



細井 良雄 議員  
(2期・共産党市議団)

### 人工透析患者等の通院支援について

**問** 今年度、予算化された福祉デマンドタクシー実証実験事業の現状と今後の対応はどうか。

**答** 福祉デマンドタクシーは、通院患者を対象に、低廉な料金で乗り合いタクシーを運行するという取り組みである。現在、医療機関と患者会が、具体的な対象者や運行コースの選定に向けており、10月からの運行開始に向けて準備を進めている。今後は、今年度の実証実験の成果を見定めた上で、通院困難者の新たな移動手段

として、積極的に支援をしていきたい。

**問** 人工透析患者にとって、週3回の通院は大変な労力と費用がかかる。病院までの距離が遠い患者も安心して通院できるように市の支援を求めているがどうか。

**答** 現在の通院費助成制度は、合併前の旧市町村の制度が併存している状況であり、いずれ整理が必要だと考えている。今、最優先すべき課題は、自力で通院できない通院困難者への支援をどのように行うかである。そのためは、現在行っている経済的支援だけでなく、個々の実情に合った移動のサービスをどう確保するかが課題だと考えている。現在進めている福祉デマンドタクシーなどを通院困難者の移動手段として、積極的に活用していきたい。

### その他の質問

・長岡市の総合特区に向けた取り組みについて



水科 三郎 議員  
(3期・しん長岡クラブ)

### 主要道路の整備について

**問** 蔵王橋西詰の交通渋滞解消のためにも、横山町亀貝線の道路改良が望まれてきた。この区間の工事の進捗状況はどうか。

**答** 城岡橋交差点から横枕町稲葉線交差点までの区間については、県が事業主体となり平成18年から整備が進められている。今年度は跨線橋の下部工事が、来年度以降は跨線橋の上部工事や栖吉川橋りょうなどの本格的な工事が行われる予定で、平成28年度の供用開始を目指していると聞いてい

る。市としては県に対し、一層の事業推進を要望していきたいと考えている。

**問** 越路橋から長生橋までの信濃川右岸堤防管理道路にある思案橋は、昨年の死亡事故を受け通行止めになっているが、一刻も早く市道への格上げと橋の改修を行い、通行できるようにしてほしいがどうか。

**答** 国直轄河川の管理用道路を市道として認定して橋を架け替えることは、多くのクリアすべき条件があり簡単なことではない。しかし、多くの市民が利用する思案橋の重要性を考えると、早期に架け替えを行い、市民の要望にこたえたいと考えている。市道認定については、道路管理者の信濃川河川事務所と協議中だが、何とか今年度中に市道認定を完了し、来年度に橋の架け替え工事を実施できるように、最善の努力を重ねたいと考えている。



浮部 文雄 議員  
(1期・市民クラブ)

### 長岡東西道路に関わる道路網の整備について

**問** 東西道路は主要幹線に連結して見なければ、道路網としての発展が見込めない。東西道路のうち、西津町から高畑町までの整備状況と今後のスケジュールはどうなっているか。

**答** 現在、西津町から川辺町までの3ヶが整備区間となっている。橋りょう前後の区間を県の事業として整備が進められており、平成25年度の開通を目指している。今年度の10月からはいよいよ信濃川橋りょうの橋げたの設置が始まるの

で、市民の期待もさらに高まると考えている。

一方、要町から高畑町地内の国道17号への接続については、東西道路の整備効果を最大限に発揮するためにも必要不可欠だと考えており、整備区間への格上げを国、県に強く要望している状況である。市民の悲願である東西道路が一日も早く完成するよう、国、県と連携して取り組んでいきたい。

**問** 東西道路のうち、西津町から大積町付近までの整備状況と今後のスケジュールはどうなっているか。

**答** 当該区間はほとんどが計画路線であり、まずはルート選定が必要となっている。また国道8号へ接続するためには、地形的に急峻な区間を通過することから、事業化には相当な期間が必要な上、事業費もかさむ。従って、現時点での事業化は大変難しいと考えている。





関 充夫 議員  
(2期・しん長岡クラブ)

### 中山間地域の集落維持のための支援策について

**問** 毎年起こり得る自然災害に  
対し、迅速な復旧が求められ  
ることを考えると、復旧にかかる  
費用は補正予算ではなく、当初予  
算で組んで対応してはどうか。

**答** これまで災害への応急対応  
には、通常の維持補修分に追  
加補正して対応してきた。しかし  
中山間地域では、毎年のように春  
先の融雪災害や大雨時の小規模災  
害が発生しており、これらに備え  
た応急対応経費を当初予算できち  
んと措置することは、大変意義が  
あると考えている。また、市民の

目に見える形で予算措置すること  
は、中山間地域の人々の安心感に  
つながり、災害に強い地域づくり  
のアピールにもなると考えている。  
**問** 中山間地域の活性化のため  
に、国の支援策である「集落  
支援員制度」の導入を図ってはど  
うか。

**答** どのように集落を維持し、  
活性化していくかは非常に大  
切な課題になっている。まずは行  
政が集落の現状と住民の思いをし  
っかりと受け止めることが重要で  
ある。そのために、地域コミュニ  
ティ活動を進める中で、地域力を  
高め、集落を維持する環境づくり  
を行っていくことが必要だと考え  
ている。

こうした取り組みをした上で、  
外部からの支援も大変意義がある  
と考えている。集落支援員制度も  
参考にしながら、地域に対する人  
的支援の導入方法を検討していき  
たい。



松井 一男 議員  
(3期・市民クラブ)

### 平成23年7月新潟・福島 豪雨災害の対応について

**問** 刈谷田川については、平成  
16年の7・13水害による災害  
復旧工事によって整備された、見  
附市にある5カ所の遊水地が最も  
効果を発揮し、水位を低下させる  
ことができたと考えるがどうか。

**答** 16年の水害後、河道の拡幅  
や堤防のかさ上げ、放水路や  
遊水地などの河川改良工事を短期  
間に実施し、今回の水害の減災に  
つながったと考えている。その効  
果を広くPRしていくとともに、  
河川整備の促進を、国と県にも強  
く要望していく必要があると考え

ている。  
**問** 大河津洗堰下流右岸と刈谷  
田川合流点との間の無堤地区  
である、中之島地域の西野新田地  
区と中条新田丸山地区は、計画し  
ている堤防がまだ整備されてい  
ないことにより浸水被害を受けた  
が、今後どう対応していくのか。

**答** 大河津洗堰下流の無堤地区  
は、16年の水害を契機に、国  
でも築堤の検討を進めていた。一  
方、市としても無堤区間の解消に  
向け、築堤の早期着手を国に要望  
していた。ようやく今年度から、  
国が築堤事業に着手することにな  
っていただけに、今回この地区に  
甚大な被害が発生したことは大変  
残念である。被害の状況を見ても、  
築堤が急務であることは明らかで  
あり、国に一日も早い築堤を強く  
要望していきたいと考えている。

●その他の質問  
・ケーブルテレビ網の活用につ  
いて



丸山 広司 議員  
(2期・市民クラブ)

### 平成23年7月新潟・福島 豪雨災害について

**問** 今後、柿川沿いで浸水被害  
を起こさないためにも、柿川  
放水路の建設と同時に、河床掘削  
や護岸整備、貯留管設置などの広  
域のかつ総合的な対策が求められ  
ると考えるがどうか。

**答** 浸水被害を抜本的に解決す  
るためには、放水路の早期実  
現が基本であるが、それと同時に  
河床掘削も計画されており、これ  
らの整備により、現在より治水安  
全度が5倍ほど向上するものと考  
えている。また、併せて下水道の  
整備も重要と考え、雨水貯留施設

を計画し整備していく方針である。  
**高齢者などの  
個人情報などの共有について**  
**問** 高齢者などの孤立・無縁化  
を防止するため、個人情報や  
個人の権利を保護しつつ、市と地  
域で共有することが重要と考える  
がどうか。

**答** 市では毎年、高齢者現況調  
査や災害時要援護者名簿の作  
成を通じ、高齢者の状況を確認し、  
民生委員や地域包括支援センター  
などとその情報を共有し、独り暮  
らしの高齢者を中心とした見守り  
活動を行っている。また、IT機  
器を活用した見守りシステムも運  
用しており、必要に応じて関係者  
が情報を共有して地域で見守り、  
支え合う環境づくりに努めている。

●その他の質問  
・長岡ニュータウン運動公園の整  
備について  
・市街地の歩道整備について



加藤 尚登 議員  
(2期・市民クラブ)

### ホノルル市との 平和交流について

**問** 今後、ホノルル市との平和  
交流をどのように進めていく  
のか。

**答** 今年12月に、長岡市の大学  
生10名程度をホノルル市に派  
遣し、真珠湾追悼式典への出席や  
地元の大学生との平和についての  
相互理解を深めるためのワークシ  
ョップに参加してもらうことを予  
定している。

今後、このような青少年を軸と  
した平和交流を進め、歴史的事実  
を正しく理解しながら、お互いに  
主張すべきところは主張し、冷静

に、忌憚ない意見の交換をし合う  
ことが大切だと考えている。  
**問** 今年12月に、映画「聯合艦  
隊司令長官山本五十六」が全  
国で公開されるのに伴い、山本記  
念公園には多くの観光客が訪れる  
ことが予想される。現在の管理状  
況はどうか。また、さらなる整備  
を望むがどう考えるか。

**答** 山本記念公園の清掃や除草、  
樹木の剪定、施設の点検など  
は民間事業者に委託しているが、  
開園から既に50年以上が経過し、  
施設の老朽化が見受けられること  
から、修繕や補修が必要だと考え  
ている。

映画の公開に伴い、来訪者の増  
加は当然予想されるので、公園管  
理の面から、長岡市民の敬意の念  
が誤解を受けることがないように、  
早急に整備を進めたい。  
●その他の質問  
・長岡市の平和に関する事業につ  
いて



大平 美恵子 議員  
(3期・無所属の会)

### 子どもを守ることに主眼を置く 放射線リスク対策について

**問** 食物による内部被ばくを防  
ぐためにも、放射能に汚染さ  
れた食材を学校給食に入りませ  
ないよう、市としてどう対応して  
いくのか。

**答** 学校給食の食材は、各学校  
が個別の献立により発注して  
おり、納品時に品質や異物混入の  
有無などをしっかりと確認すると同  
時に、納品伝票により産地も確認  
している。原発事故後は、県や食  
材の出荷都道府県が毎日実施して  
いる放射性物質のサンプル検査結  
果も確認し、細心の注意を払って

いく。

保護者に対しては、安心して  
いただくためにも、給食だよりなど  
を通じ検査態勢をお知らせするな  
ど、市の取り組みをより丁寧に周  
知することに努めたい。  
**問** 震災により市内で受け入れ  
生徒たちに対し、市はどのような  
取り組みを行っているのか。

**答** 特に受け入れ児童の多かつ  
た3校の支援のために、臨時  
職員と県からの講師を配置した。  
そのほか、受け入れた各学校に  
対し、県のスクールカウンセラー  
を派遣し、カウンセリングを行う  
ことで、転入当初見られた不安や  
落ち着きがないというような状況  
が軽減できているという報告を  
受けている。また、各学校で中心  
となって心のケアを進める「心の  
ケア推進者」を定め、ストレス症  
状のある子どもや保護者への対応  
についての研修会を計画している。

いく。



藤井 達徳 議員  
(3期・公明党)

### 豪雨対策について

**問** 今回の豪雨に限らず、大雨  
のたびに浸水を繰り返す地域  
は、最優先で対策を講じるべきと  
考えるが、今後の見通しは。

**答** 市内で繰り返し被害を受け  
ている区域は、今井・要町周  
辺、蓮瀉周辺、三島地域の脇野町  
周辺など、合計で13カ所あると認  
識している。

雨水対策は、放流先の河川の能  
力とバランスをとることが重要で  
あり、市内を流れる中小河川が改  
修されることにより初めて整備に  
着手でき、効果が出る場合がある。  
平成14年に策定した長岡市都市雨

水対策計画に基づき、抜本的な排  
水区域や排水ルートの見直し等に  
よる対策を行う一方で、原因をき  
め細かく分析しながら暫定的な方  
策を講じることも被害軽減の一つ  
であると考えている。

**問** 豪雨のたびに中心市街地が  
浸水し、交通が遮断され、市  
民生活はもとより、企業活動や行  
政にも支障を来すことは、当市の  
イメージダウンにもつながりかね  
ない。浸水・治水対策を早急に行  
うべきと考えるがどうか。

**答** 市街地の抜本的な浸水対策  
としては、柿川放水路の早期  
実現が重要であると考えている。  
柿川放水路の完成は、地域住民が  
待ち望んでいる緊急性の高い事業  
であることを訴えながら、国、県  
に対し強く働きかけていきたいと  
考えている。また、それと並行し  
て、都市雨水対策計画に基づき、  
効率的かつ効果的な雨水整備を進  
めていくことにしたい。



**問** 市民活動団体は、ほぼ共通して資金面での課題を抱えている。行政が直接、市民活動団体に助成金を出すだけではなく、団体に寄附が集まるような仕組みづくりも行政の大切な役割と考えるがどうか。

**答** 本来は、市民活動団体が寄附などにより自前で資金調達できる社会が理想だが、日本では残念ながらそうした文化が育っていない。市では現在、市民活動団体助成事業などを通じ、財政的な支援を行っているが、こうした支

**市民活動を支える 仕組みづくりについて**



桑原 望 議員  
(3期・無所属の会)

**問** 全国でも導入例が増えている「マイクロ水力発電」を、中山間地の農業用水路や上下水道を利用して導入してはどうか。

**答** 中山間地の農業用水路を使用しているマイクロ水力発電については、今年度から国の補助による実証支援事業が始められている。現在、市内で導入を検討している地区はないが、導入したいとの意向があったら支援を検討していきたい。

**再生可能エネルギーの活用について**

**問** 太陽光発電を公共施設に積極的に導入してはどうか。また、一般家庭が導入しようとしてもまだまだ負担が大きいので、補助単価の引き上げが必要だと考えるがどうか。

**答** 太陽光発電は、市有施設では千手小学校、和島小学校などで導入している。今後も防災拠点などの公共施設に積極的に導入していきたいと考えている。一般家庭への導入に対しては、1階当たり7万円を5階を上限として補助している。今後は、国、

**問** 上水道施設への導入は、費用対効果で優位性が明らかになつたら検討していきたい。下水道施設への導入は、昨年度、調査をした結果、費用対効果で課題があり、導入には至らなかったが、今後も研究していきたい。

**答** 上水道施設への導入は、費用対効果で優位性が明らかになつたら検討していきたい。下水道施設への導入は、昨年度、調査をした結果、費用対効果で課題があり、導入には至らなかったが、今後も研究していきたい。

**その他の質問**



木島 祥司 議員  
(1期・共産党市議団)

**問** 県府の動向を踏まえつつ、拡充を図っていきたく考えている。全国でも導入例が増えている「マイクロ水力発電」を、中山間地の農業用水路や上下水道を利用して導入してはどうか。

**答** 中山間地の農業用水路を使用しているマイクロ水力発電については、今年度から国の補助による実証支援事業が始められている。現在、市内で導入を検討している地区はないが、導入したいとの意向があったら支援を検討していきたい。

**市議会の活動状況**

● 議会運営委員会

- 8月12日 9月定例会の会期の決定について
- 9月9日 9月定例会の運営方針について
- 9月13日 9月定例会招集日の運営方針について
- 9月28日 9月定例会最終日の運営方針について

● 議員協議会

- 9月9日 ・平成23年7月新潟・福島豪雨災害について
- ・シティホールプラザ「アオーレ長岡」オープニング記念イベントについて
- 10月14日 シティホールプラザ「アオーレ長岡」について

● 委員協議会

- 9月20日 産業市民委員協議会
- 9月21日 文教福祉委員協議会
- 9月26日 総務委員協議会
- 10月13日 産業市民委員協議会



**長岡市議会、いざ出陣！**

10月8日、第10回米百俵まつりが開催され、戊辰戦争長岡城奪還時の長岡藩隊を再現した「越後長岡時代行列」に議員も参加しました。

酒井議長が長岡藩家老・河井継之助を演じ、そのほかの議員は侍や山伏に扮して、大手通り周辺を練り歩きました。



河井継之助役の酒井議長がガトリング砲を連射



ほら貝を吹きながら練り歩く議員

**スポーツ振興議員連盟が 信濃川河川敷の被災状況を視察**

平成23年7月新潟・福島豪雨では、信濃川の河川敷にある運動施設も大きな被害を受けました。

スポーツ振興議員連盟では、被害の状況を確認するため、8月25日に河川敷の5カ所の施設の視察を行いました。

グラウンドは、信濃川の増水によって運ばれてきた土砂が全面に積もり、防球ネットやサッカーゴールが流されるなど、10月現在も使用できない状態です。今後、国の災害査定を受け、本格的な復旧工事が行われます。



← 積もった泥が乾燥して、ひび割れている河川公園



**文化議員連盟が 河井継之助ゆかりの寺を視察**

文化議員連盟では9月27日に河井継之助記念館の稲川館長の説明のもと、小千谷市にある慈眼寺を視察しました。

慈眼寺は、継之助ゆかりの寺で、戊辰戦争の際、継之助が武装中立を訴え、新政府軍の岩村軍監と交渉をした場として有名です。

本連盟では、今後も本市にまつわる歴史や文化を調査し、本市の振興・地域づくりに寄与していきます。



● 議員連盟とは？

議員で構成された任意の組織で、スポーツや文化を通じて本市の振興と活力ある地域づくりに寄与することを目的としています。特定の目的のために会派の枠を超えて結成されている集まりです。現在、スポーツ振興議員連盟と文化議員連盟があります。(そのほか、議員連盟とは別に、農業振興議員研究会が任意の組織として結成されています。)

※ マイクロ水力発電：大きなダムや水路を構築することなく、上下水道や農工業用水などの水のエネルギーを利用して発電すること。



# 9月定例会 議決結果

9月定例会は、9月13日から28日までの16日間の会期で開かれ、19人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

また、市長提出議案30件、請願1件を審査し、それぞれ右表（会派別議案賛否一覧表）のとおり議決しました。

## 会派別議案賛否一覧表

### 9月定例会

○：議案に対して会派全員が賛成 △：議案に対して会派全員が継続審査  
×：議案に対して会派全員が反対

#### 各種行政委員の選任に同意

9月28日の本会議最終日に、次の方を選任することに同意しました。

- 教育委員会委員 羽賀 友信 氏（再任）  
青柳由美子 氏（新任）
- 監査委員 北村 敏雄 氏（再任）

#### 会派別所属議員

市民クラブ	丸山 勝総 松井 一男 丸山 広司 藤井 盛光 広井 晃 古川原直人 五井 文雄 大地 正幸	関 正史 長谷川一作 高見 美加 浮部 文雄 加藤 尚登 高野 正義 小熊 正志 矢野 一夫
しん長岡クラブ	永井 亮一 山田 省吾 水科 三郎	杵淵 俊久 関 充夫 鈴木 正一
共産党市議団	笠井 則雄 木島 祥司	諸橋 虎雄 細井 良雄
民成クラブ	佐藤 伸広 加藤 一康	杉本 輝榮 小坂井和夫
公明党	藤井 達徳 山田保一郎	中村 耕一
無所属の会	大平美恵子 桑原 望	
無所属	西澤 信勝 酒井 正春（議長）	関 貴志

議案	会派名 ( )は所属議員数	市民	しん	共産	民成	公	無	西	関	議決結果	
		民	長	産	成	明	所	澤	貴		
		ク	岡	党	ク	明	所	澤	貴		
		ラ	ク	市	ラ	党	属	信	志		
		ブ	ラ	議	ブ	の	の	勝	議		
		(	ブ	団	党	会	議	議	員		
		)	は	(	(	(	(	(	(		
		は	所	所	所	所	所	所	所		
		所	属	属	属	属	属	属	属		
		所	属	属	属	属	属	属	属		
		属	議	議	議	議	議	議	議		
		議	員	員	員	員	員	員	員		
		員	数	数	数	数	数	数	数		
専決処分	専決第14号 平成23年度長岡市一般会計補正予算 ほか	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
補正予算	平成23年度長岡市一般会計 ほか6件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
条例改正	長岡市災害弔慰金の支給等に関する条例 ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
市長提出議案	市の境界変更	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	市道路線の認定及び変更	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	契約の締結（白山保育園移転改築工事） ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	契約の締結（シティホール（仮称）建築工事変更契約）	○	○	×	○	○	○	○	×	原案可決	
	契約の締結（長岡駅大手口ペDESTリアンデッキ新設工事変更契約）	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決	
	財産の取得（左岸バイパス用地） ほか3件	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	財産の取得（アオーレ長岡アリーナ設備移動観覧席）	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	
	財産の取得（アオーレ長岡アリーナ設備バスケット台）	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	
	決算	決算の認定（2件） 平成22年度一般会計・特別会計 平成22年度水道事業会計・ガス事業会計	△	△	△	△	△	△	△	△	※2 継続審査
	人事	教育委員会委員、監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願	社会保障と税の一体改革による消費税の増税は行わないよう求めることに関する請願	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択	

※1 鈴木正一議員は欠席。  
※2 決算の認定については、11月8日～10日に開催予定の決算審査特別委員会で審査します。

## ホームページで議会情報を発信中！

#### <パソコンから>

本会議や常任委員会、特別委員会の生中継や録画中継などが市議会ホームページでご覧いただけます。議会の日程や議案の概要、会議録なども載っていますので、ぜひアクセスしてみてください。

#### ◆市議会ホームページURL

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/sigikai/>

#### ◆中継ページへのアクセス方法

長岡市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒ 長岡市議会生中継録画中継



#### <携帯電話から>

定例会や臨時会、特別委員会の日程、傍聴方法を公開しています。

#### ◆市議会ホームページURL

<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/m/sigikai/>

#### ◆ご利用方法

携帯電話・PHSから直接上記URLをご入力ください。また、QRコードに対応している電話機のカメラで、下のコードを読み取って利用することもできます（対応機種のみ）。



## 議員の年賀状は禁止されています

市議会議員は、答礼のための自筆によるものを除き、選挙区内の人に対して年賀状を出すことやお歳暮などを贈ることが公職選挙法で禁止されています。ご理解をお願いいたします。

